

## 平成 22 年第 1 回定例会 一般質問通告一覧表

質問順 1 番	受付月日	2.18	通告者	13 番	吉田 瑞生
	答弁者	市長	発言時間	30 分	
<p>平成 23 年 11 月 1 日の市制施行 40 周年に際しての記念事業として、初代市長大場源七氏の胸像を修理すること等について</p> <p>大場源七翁胸像のメガネが壊されたり、伊藤喜一郎氏胸像台座に刻まれた名前や文字が腐食している状態にある。これらのことに対処して保全を図り敬仰するとともに、維持管理に努められたい。</p>					

質問順 2 番	受付月日	2.22	通告者	7 番	森 長一郎
	答弁者	市長	発言時間	30 分	
1	建設行政について				
	都市計画においても、市内業者の利便性に寄与するためにも、建築主事の配置を求める。				
2	第五次多賀城市総合計画策定について				
	策定において、まちづくり懇談会、市民アンケート等経過途上と思うが、将来における各市民団体、組織との整合性、対応を伺う。				
3	平成 22 年度予算について				
	自主財源の減少傾向について、地域主権の立場からの対応を伺う。				

質問順 3 番	受付月日	2.22	通告者	2 番	佐藤 恵子
	答弁者	市長・教育長	発言時間	30 分	
1	公共交通（バス停）の充実、改善について				
	<p>(1) 多賀城市東部地域は、多賀城東部線（ユーアイバス）とセヶ浜ぐるりんこ、塩釜ナビバスの運行で何とか住民の足も確保されつつあるが、一部バス停の設置場所が利用者にとって適切でないという声は依然として多い。住民の声に応じて、セヶ浜町とバス停移設の協議を強めてはいかがか。</p> <p>(2) 市内バス停は吹きさらしの状態にあるが、すべてのバス停に屋根とベンチの設置を進めていくべきと思うがいかがか。</p>				

<b>2</b>	<b>高齢者の免許証返納時の対応について</b>
	(1) 高齢者が自らの運転事故を防ぐため、免許証を返納することが多くなっている。事故防止のためには、適切に返納していただくことは重要と考えるが、その際に一定の優遇措置をとられてはどうか(例えば、タクシー代の割引券又はバス代割引券など。)
<b>3</b>	<b>市独自の奨学金制度の充実について</b>
	仙台市では、国の奨学金制度利用者に対して利子補給の援助を決めた。本市も取り組まれてはどうか。

質問順	受付月日	2.22	通告者	10番	藤原益栄
4番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
<b>1</b>	<b>水道事業資本費平準化債について</b>				
	(1) 水道事業資本費平準化債は、下水道事業の同債同様減価償却費を超える元金償還額につき、事務的に処理されるものと理解しているが、当局の見解を問う。				
	(2) 私どもは、「水道事業資本費平準化債の償還期間は40年以内で各企業の経営判断」との政府担当者の説明を受けているが、市当局は「10年以内」と説明していた。認識に変化はないか。				
	(3) 6月議会に、水道料金の再引下げ条例を提案されたい。				
<b>2</b>	<b>多賀城跡の調査と整備の加速について</b>				
	(1) 中央公園部分の南北大路整備のための発掘調査は、既に終了していると理解してよろしいか。				
	(2) 多賀城跡調査研究委員会で、文化庁の調査官より「県は国の補助メニューを活用していない」との指摘があったが、具体的にどうということと理解しているか。				
<b>3</b>	<b>古代国府所在自治体との連携について</b>				
	(1) 昨秋、東京都府中市より「国府サミット」へのお誘いがあったようだが、どのように対応されたのか。				
	(2) 古代国府所在自治体と、もっとていねいに付き合うべきではないか。				
<b>4</b>	<b>第五次総合計画について</b>				
	第五次総合計画に、保健福祉センター、新図書館建設構想を盛り込				

まれない。

質問順	受付月日	2.22	通告者	5番	米澤まき子
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	
緊急時（火災）の消火栓等の市民の活用について					
地震災害で最も重要なのは、初期消火であることは言うまでもなく、消防団員の不足を耳にする昨今、市民による自衛消防を組織し、消火栓接続と消火用具の取扱いについて、使用資格の習得及び訓練等を地域住民（女性を含む。）ができるようになれば、効率の良い消火が可能となるが、今後の消防活動に関して伺う。					

質問順	受付月日	2.22	通告者	8番	雨森修一
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	樋の口大橋の道路面すべり止め舗装、補修について				
平成10年12月に架け替えられた新田高崎線樋の口大橋は、開通より年月も経過している。積雪、凍結の際、すべり止め舗装の効果が低下しつつある。大事故にもつながることから、再度防止策を求める。					
2	友好都市について				
2月6日多賀城と奈良両市の友好都市協定の調印式が行われ、協定書が交わされたことは誠にめでたいことである。奈良市との関係を深めるための、一層の努力を問う。					

質問順	受付月日	2.22	通告者	9番	板橋恵一
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	JR仙石線多賀城駅周辺で進む高架化事業、区画整理事業、再開発事業の現況について				
(1) 仙石線多賀城地区連続立体交差事業の高架化の現在の進捗状況と、高架下の活用について伺う。					
(2) 多賀城駅周辺土地区画整理事業の進捗状況と公有地の今後について伺う。					
(3) 多賀城駅北地区第一種市街地再開発事業の進捗状況について伺う。					

2	(仮称)多賀城インターチェンジの早期整備について	
	(1) 総決起大会後の現況について伺う。 (2) 文化財発掘調査についての現況は、どう推移しているのか伺う。	

質問順	受付月日	2.22	通告者	17番	尾口好昭
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	平成18年第3回定例会での所信表明から(マニフェストとして扱っているの)				
	(1) 史都から詩都へのまちづくりのイメージは定着されたか。 (2) 平成21年人事による課長及び理事、副理事処遇はわたり給与である。給料月額、退職金、年金受給等それぞれ加算額を公表されたい。 (3) 産業創造課設置の実現化は。				
2	一本柳地区工業団地化構想について				
	県とはどのような協議を進めているのか、明らかにされたい(平成21年第2回定例会での私への市長の答弁から。)				
3	平成22年度施政方針から				
	コスモスの植生活動と生物多様性を守ることへの見解を伺う。				

質問順	受付月日	2.22	通告者	12番	中村善吉
9番	答弁者	教育長	発言時間	30分	
	歴史教科書採択について				
	本市の歴史教育方針を伺うことから(当管内採択協議会では東京書籍が採択されたが)、その前段作業の本市における教科書選定作業の結果を伺う。 (1) 歴史教科書選定・採択の配慮点について (2) 情報公開資料を参考に、本市の前段選定作業について (3) 情報公開資料・当管内採択協議会での会議録について (4) 本市における教科書の解釈について				

質問順	受付月日	2.22	通告者	4番	伏谷修一
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<b>市政運営について</b>				
	<p>ガバメントからガバナンス（統治～協治）へと分権時代における市民協働の認識を、未来永劫継続することで、まちづくりを考察する市長の基本的な政策を、第五次総合計画へ盛り込む姿勢が問われている。各種政策提言を実行している現在、実現事項を市民がどのように捉え、市長が4年間の実績をどのように次のステージに踏まえるかが大切であると考え。二期目に向けた、更なる強い気持ちが必要と考えるがいかがか。</p>				
2	<b>第六次産業の考え方について</b>				
	<p>本市の農業政策における基本的な考え方は、農地の所有から活用という概念を耕作者に強く抱かせるべきと考える。また、担い手に新たな気づきを与え、着目点を見いだす必要があると考える。現在、農水産業者が自らの英知を結集し、加工販売までを第六次産業と位置づけて成功している事例がある。本市の都市型農業あるいは観光農業への導きになると思われるが、考えを伺う。</p>				

質問順	受付月日	2.22	通告者	3番	深谷晃祐
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<b>多賀城市の防災計画について</b>				
	<p>(1) 多賀城市防災計画の策定や見直し等に当たり、阪神淡路大震災の教訓をどのように生かしているのか。</p> <p>(2) 多賀城市地域防災計画108ページに「避難所を円滑に運営、管理するため、避難所運営マニュアルをあらかじめ作成し、避難所ごとの運営方法や運営体制等の確立を図る」とあるが、マニュアル作成はどの程度進んでいるのか。</p> <p>(3) 避難所マニュアルを使用した避難所開設防災訓練を行う考えはあるのか。</p> <p>(4) 上記マニュアル等の作成に当たり、男女共同参画の視点をどのように取り入れているのか。</p>				

	(5) 「災害時にボランティア活動を行おうとする者の受け入れ・活動の調整を行うための窓口の運営について、多賀城市社会福祉協議会との連携体制を整備する」とあるが、具体的な運営マニュアルは策定しているのか。
2	<b>多賀城市の土地の有効活用について</b> (1) 新田浄水場の北側、上水道部及び市の一般会計で保有する土地を様々な視点から検証し、子育て支援施設(保育所)とデイサービス等の複合施設を建設してはいかがか。 (2) 山王市営住宅の跡地利用をどのように考えているのか。

質問順	受付月日	2.22	通告者	1番	柳原清
12番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<b>留守家庭児童学級の過密解消について</b> 留守家庭児童学級の過密が問題になっている。城南小学校の「もみじ学級」は、分級が決まり過密が解消される見込みだが、多賀城小学校の「すぎのこ学級」、山王小学校の「あざみ学級」は、過密状態となっている。早急に過密解消を図られたい。				
2	<b>市社会福祉協議会の生活安定資金について</b> 昨年末より市社会福祉協議会の生活安定資金の申込みが急増し、原資の枯渇により貸出しを待ってもらう事態になっている。社会福祉協議会と生活安定資金の原資を増資し、貸出し制限をすることがないよう協議されたい。				
3	<b>窓口への相談室設置について</b> 市役所収納課の相談窓口は通路に面しており、相談者のプライバシーが保てない。市民が安心して相談できるように、相談室を設けられたい。				

質問順	受付月日	2.22	通告者	18番	昌浦泰己
13番	答弁者	教育長	発言時間	30分	
	<b>教育の現状と対策について</b> (1) よく、授業時間数が足りないと言われている。学校二学期制を導入し、授業時間数増を図ることが考えられるが、当局はどのよ				

うにお考えか。

- (2) 学校の長期休業中に、補充授業を実施するお考えはお有りか。
- (3) 教職員経験者に正規教職員のアシスタントをお願いし、教員の負担減を図る策はお考えか。
- (4) 七五三教育と言われて、小学校で七割、中学校で五割、高校で三割の児童、生徒が授業内容を理解するが、他は理解できないという現状をどう打開するお考えか。

質問順	受付月日	2.22	通告者	14番	相澤耀司
14番	答弁者	市長	発言時間	30分	
環境政策について					
多賀城市の環境政策について					
(1) 総理が打ち出した基準年度に対して、多賀城市としてどのような政策を考えているか。					
(2) 教育分野、企業対策、地域対策ではどのような政策を考えているか。					